

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の 利用目的及び 利用方法》	●研究の名称 心室性期外収縮マッピングにおける Multipolar mapping と Wavefront annotation によるマッピングの最早期興奮領域の描出特性比較に関する後ろ向き観察研究
	●研究の対象 2024 年 1 月～研究機関の長による実施許可日までの期間に通常診療により PVC アブレーションの治療を受けたに当院で心臓カテーテル治療を受けられた患者 40 名
	●研究の目的 心室性期外収縮(PVC)に対するカテーテルアブレーションは、有効な治療法であり、成功率は不整脈起源の正確な同定に大きく依存します。特に局所興奮時間（LAT）マッピングは、最早期興奮箇所の同定や通電箇所の決定において重要な役割を担っています。従来より用いられている Wavefront annotation によるマッピングでは、unipolar および bipolar 電位を総合的に評価するため、波形の整合性を保ちながらマッピングが可能である一方、far-field 電位の影響を受けやすく、最早期興奮領域が広範に描出される可能性が指摘されています。近年、使用可能となった Multipolar mapping は、複数電極で記録した信号を比較することで、より局所の電気信号を捉えやすくなり、不整脈起源の局在化精度の向上が報告されています。しかし、Multipolar mapping と Wavefront annotation によるマッピングで、最早期興奮領域特性に関する比較は、十分に検討されていません。 そこで本研究は、PVC に対してアブレーションを行った症例において、Multipolar mapping と Wavefront annotation によるマッピングの最早期興奮領域の描出特性を後ろ向きに解析することにより、有効な治療指針を見出すことを目的とします。
	●研究の期間 研究期間の超による実施許可日から 2028 年 12 月まで

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日 ●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 情報：病歴、治療歴、身体所見、心臓超音波検査、心電図検査、マッピングデータ 等
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 研究機関： 浜松医科大学医学部附属病院 第三内科診療科群 病院講師 佐野 誠
《外国にある者に対する試料・情報の提供》	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 第三内科診療科群 担当者： 佐野 誠 TEL： 053-435-2267 E-mail： makosano@hama-med.ac.jp